

## 第4回遠州灘海浜公園（篠原地区）利活用推進協議会

日時 令和8年2月13日（金）

13:30～14:30

場所 県庁別館9階特別第二会議室

次第

1 開会

2 挨拶

3 議事

（1）これまでの経緯 （資料1）

（2）浜松市からの説明 （資料2）

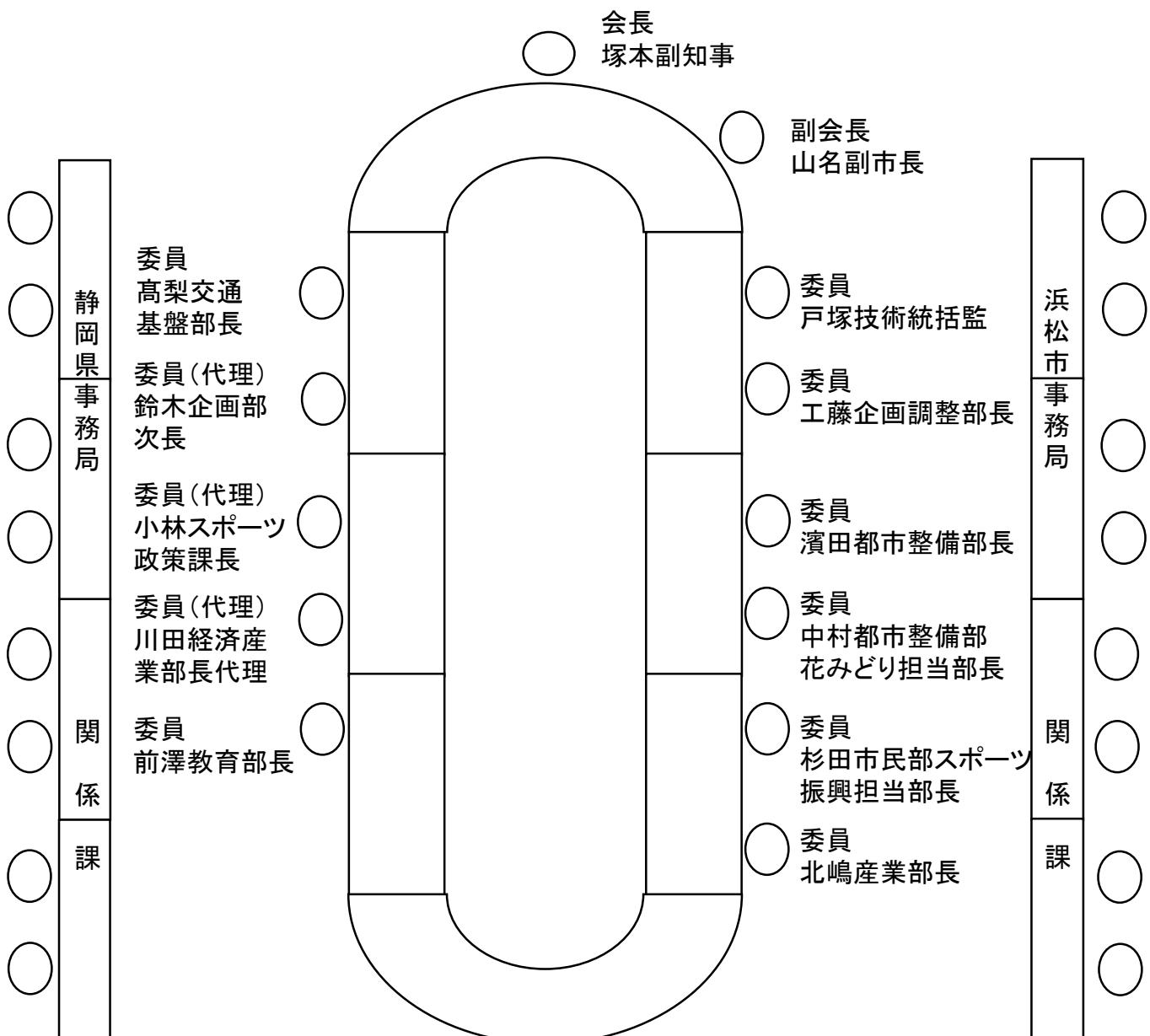
（3）民間投資の可能性深掘り方針（案） （資料3）

（4）今後の進め方 （資料4）

4 閉会

## 第4回遠州灘海浜公園(篠原地区)利活用推進協議会座席表

日時 令和8年2月13日 午後1時30分から午後2時30分まで  
場所 県庁別館9階特別第二会議室



第4回 遠州灘海浜公園（篠原地区）利活用推進協議 出席者名簿

令和8年2月13日（金） 午後1時30分から午後2時30分

県庁別館9階特別第二会議室

| 協議会 | 所属            | 役職         | 氏名    | 代理出席者役職氏名      |
|-----|---------------|------------|-------|----------------|
|     | 静岡県           | 副知事        | 塚本 秀綱 |                |
|     | 静岡県企画部        | 部長         | 山田 琢也 | 次長 鈴木 利直       |
|     | 静岡県交通基盤部      | 部長         | 高梨 記成 |                |
|     | 静岡県スポーツ・文化観光部 | 部長         | 都築 直哉 | スポーツ政策課長 小林 竜太 |
|     | 静岡県経済産業部      | 部長         | 齊藤 卓己 | 部長代理 川田 剛宏     |
|     | 静岡県教育委員会      | 教育部長       | 前澤 綾子 |                |
|     | 浜松市           | 副市長        | 山名 裕  |                |
|     | 浜松市           | 技術統括監      | 戸塚 博文 |                |
|     | 浜松市企画調整部      | 部長         | 工藤 文武 |                |
|     | 浜松市都市整備部      | 部長         | 濱田 輝秀 |                |
|     | 浜松市都市整備部      | 花みどり担当部長   | 中村 浩一 |                |
|     | 浜松市市民部        | スポーツ振興担当部長 | 杉田 実良 |                |
|     | 浜松市産業部        | 部長         | 北嶋 秀明 |                |

| 事務局 | 所属               | 役職         | 氏名    | 備考 |
|-----|------------------|------------|-------|----|
|     | 静岡県交通基盤部         | 都市政策推進担当理事 | 飯田 温  |    |
|     | 静岡県交通基盤部都市局      | 局長         | 海野 智之 |    |
|     | 静岡県交通基盤部都市局公園緑地課 | 課長         | 熊谷 修孝 |    |
|     | 静岡県交通基盤部都市局公園緑地課 | 課長代理       | 金子 弥生 |    |
|     | 静岡県交通基盤部都市局公園緑地課 | 班長         | 戸田 晃裕 |    |
|     | 浜松市企画調整部企画課      | 課長         | 米村 仁志 |    |
|     | 浜松市企画調整部企画課      | 政策調整担当課長   | 松下 恵介 |    |

## 【これまでの経緯】

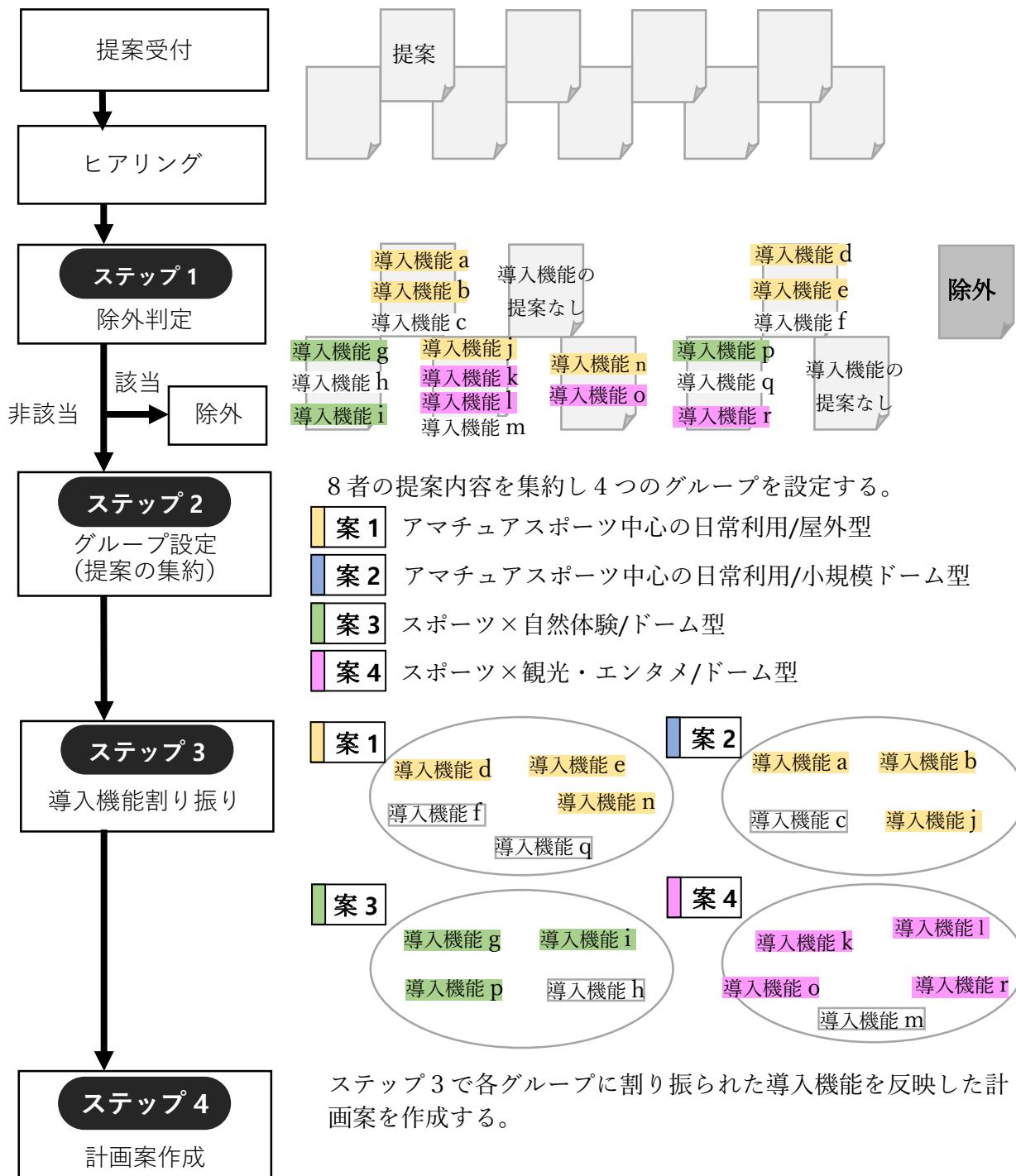
### ○利活用提案公募における提案の概要

法人単独6者と3グループの9者から以下のとおり提案があった。

| 項目        | 内容   |
|-----------|--|
| メイン野球場    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1.3万人屋外型</li> <li>・ 2.2万人屋外型</li> <li>・ 2.2万人ドーム型<br/>(空気膜方式、開閉式(空調なし))</li> <li>・ 小規模ドーム型(1.3万人)</li> </ul>  |
| 費用負担      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全額公共負担(多数意見)</li> <li>・ 一部民間負担(少数意見)</li> </ul>   |
| コスト縮減策    | <p>野球場の規模・構造が決まっていないことから、縮減額や縮減割合の具体的な提案はなし</p> <p>ドーム型</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 規模縮小</li> <li>・ 屋根架構の工夫(屋根スパンの短縮)</li> <li>・ 屋根構造・規模を工夫した開閉式</li> <li>・ 空気膜構造</li> <li>・ 最新の空調技術、太陽光発電等を導入</li> </ul> |
| 多目的等の利用施策 | <p>実現性の検証のないアイデアベースの提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロ野球、地元の野球大会、野球教室</li> <li>・ サッカー、テニス、ラグビー、格闘技</li> <li>・ Xゲームズ</li> <li>・ 音楽興行</li> <li>・ ゲームイベント</li> <li>・ フリーマーケット等</li> </ul>                     |
| 公園内施設     | <p>実現性の検証のないアイデアベースの提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ランニングステーション、トレーニング施設</li> <li>・ こどもの遊び場</li> <li>・ キャンプ場、アスレチック施設</li> <li>・ アーバンスポーツエリア(スケートパーク)等</li> </ul>  |
| 費用負担      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全額公共負担(多数意見)</li> <li>・ 一部民間負担(少数意見)</li> </ul>   |
| 公園周辺開発    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動運転車両専用レーン</li> <li>・ 将来的な賑わい創出を目的とした施設</li> </ul>   |
| 事業スキーム    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ PFI(BTO)、DBO、DB、従来方式、コンセッション、DO先行方式</li> </ul>  |

## ○第3回協議会で示した「計画案へ反映する方針」

### 全体の流れ



## ○提案の集約結果（例・静岡県作成）

### 1：「アマチュアスポーツ中心」 1.3万人/2.2万人屋外型

アマチュアスポーツ

自然体験

観光・エンタメ

その他



### 2：「アマチュアスポーツ中心」 1.3万人小規模ドーム型（中規模イベント）

アマチュアスポーツ

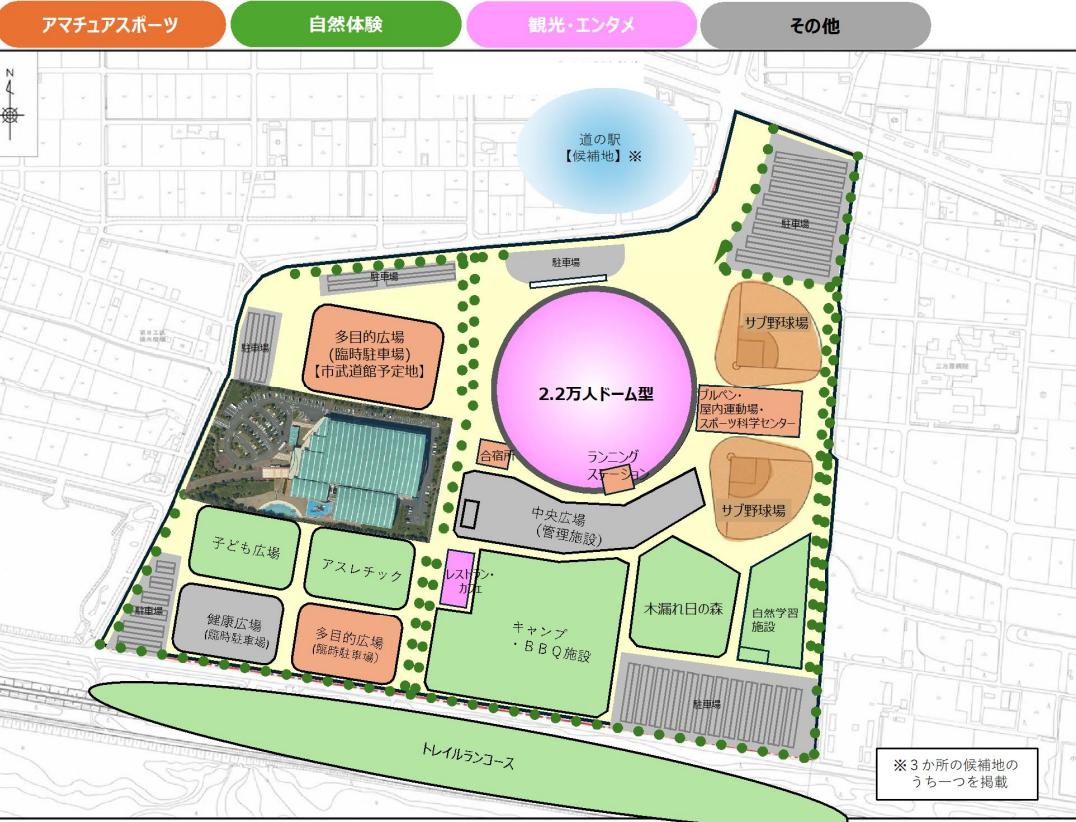
自然体験

観光・エンタメ

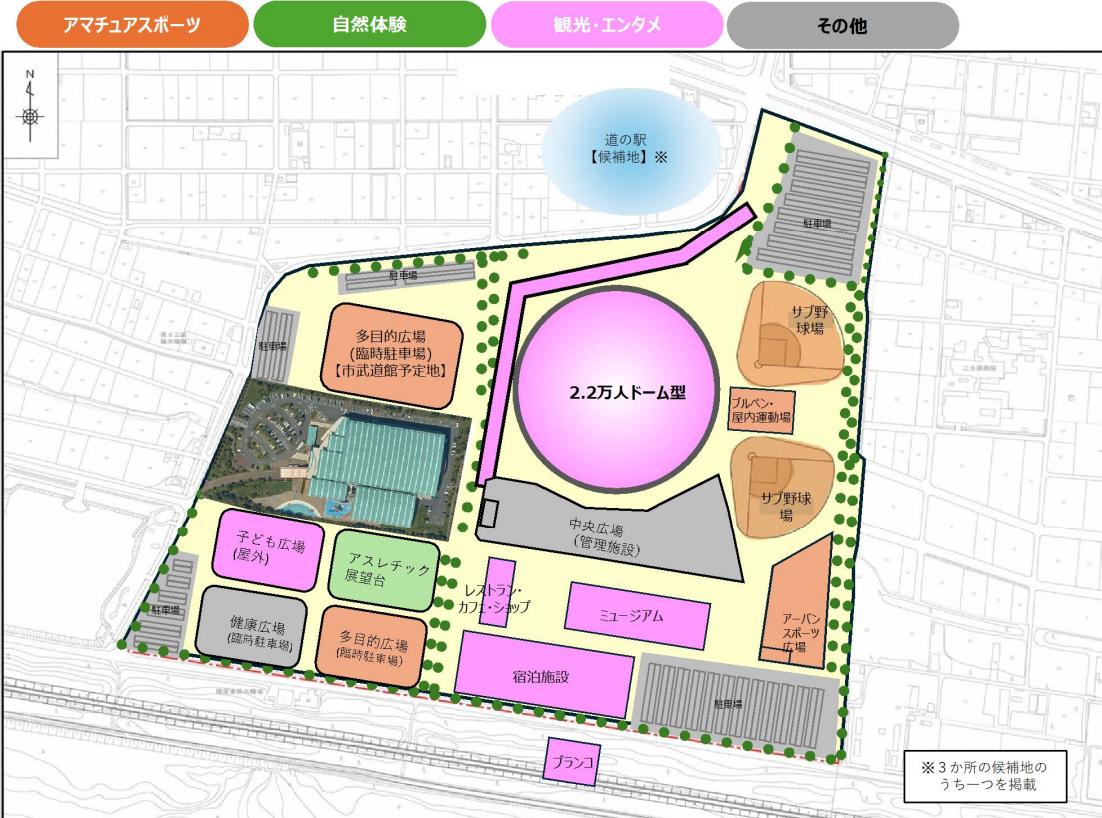
その他



### 3:「スポーツと自然体験」2.2万人ドーム型（プロスポーツ・大規模イベント）



### 4:「スポーツと観光エンタメ」2.2万人ドーム型（プロスポーツ・大規模イベント）



## 【浜松市からの説明】

### ○要望に至った背景

- ・ 多目的ドーム型スタジアムは、自然環境に配慮しながら、天候に左右されず、幅広い用途への活用が可能であり、交流人口の拡大や賑わいの創出に繋がる。
- ・ 厳しい財政状況の中で、多目的ドーム型スタジアムを建設するためには民間投資の実現が重要な要素である。
- ・ 昨年実施した利活用提案公募では、「将来的には投資の可能性もある」との意見もいただいた。
- ・ 本市としても、道の駅や武道館の整備の検討について、民間投資の呼び込みにも資するものとして、公園整備に先行して進めているところである。
- ・ 以上を踏まえ、本市としては一定の期間を設けて、民間投資の可能性を深掘りしていくことが望ましいとの認識であり、最大限協力していく考えである。こうした考えを経済界、地域、議会も共有したことから要望に至ったものである。

### ○期成同盟会要望書

- ・ 添付のとおり

---

【多目的ドーム型スタジアム建設促進期成同盟会】

## 要 望 書

遠州灘海浜公園篠原地区への県営野球場建設について、浜松地域は長年、県に対し早期実現を要望してきました。

令和6年度策定の公園基本計画では、メイン野球場の規模・構造について、1.3万人の屋外型、2.2万人の屋外型、2.2万人の多目的ドーム型の3案が併記され、本期成同盟会としては多目的ドーム型が、自然環境に配慮しながら、天候に左右されず、幅広い用途への活用により高い稼働率が見込まれる望ましい案と考えております。

昨年には、県と市による遠州灘海浜公園（篠原地区）利活用推進協議会において、民間事業者からの利活用提案を広く求めるための公募が実施されたところですが、将来的には投資の可能性もあるとの意見もあつたと伺っています。

昨今の物価や建築資材の価格高騰に伴う厳しい財政状況の中で、民間活力の活用は多目的ドーム型スタジアムの実現につながる極めて重要な要素となります。

知事もいかに民間投資を呼び込めるかが鍵と発言されておりますが、本期成同盟会としても民間投資の早期実現を望むところであり、一定の期限を設けた中で調査・検討していただきたいと考えております。

「多目的ドーム型スタジアム」の建設は交流人口の拡大や賑わいを創出し、浜松市域や県西部だけでなく、県全体の活性化や発展にもつながることから、次の事項を強く要望いたします。

## 記

1. 自然環境に配慮し、天候に左右されない多目的ドーム型スタジアムの建設を早期に実現すること
2. 野球以外の幅広いスポーツやイベントも開催が可能な仕様にすること
3. プロ野球も開催できる 22,000 人規模とすること
4. 民間投資の実現に向けて取り組むこと

2026 年 2 月 13 日

多目的ドーム型スタジアム建設促進期成同盟会

会長 浜松市長

副会長 浜松市議会議長

副会長 浜松商工会議所会頭

副会長 浜松市自治会連合会長

## 【民間投資の可能性深掘り方針（案）】

### ○現状

- ・ 県営公園のスポーツ施設の配置バランスを踏まえると、西部地域に野球場が必要である。
- ・ 利活用提案公募の結果からは、その時点では、公園整備について「全額公共負担を前提とした提案」が多数であった。
- ・ 利活用提案公募の期間が約2ヶ月間であり、十分な検討時間が確保できていなかった可能性がある。
- ・ 基本計画で算出した野球場の概算事業費は、物価高騰が続く中、その後の増大が見込まれる。
- ・ 財政状況が厳しい中、どのタイプの野球場を整備する場合でも、民間活力の活用が重要である。
- ・ 民間投資が具体的になれば、野球場タイプの選択肢が広がるだけでなく、財政負担の軽減につながる可能性がある。



建設資材や人件費等、物価高騰が続く中、厳しい財政状況も踏まえると、民間投資の可能性が残っているのなら、これを追求（深掘り）する意味はある。

### ○考慮事項

- ・ 投資を呼び込みやすくするためには、民間が投資判断する目安となるように、行政負担の考え方を示すことが必要である。
- ・ 民間投資の可能性検討には一定の期間が必要であるが、西部地域の野球場需要に対応するため、事業計画に遅れが生じないようにする必要である。



### ○方針（案）

- ・ 上記を踏まえ、以下のとおり方針（案）を提案する。

- ・ **民間投資の可能性を深掘りする。**
- ・ **行政が、負担する上限及び一定の検討期限を設定する。**

## 【今後の進め方】

